

1 第3次商業活性化ビジョンの目的・取組について

第3次商業活性化ビジョンを策定した令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による消費活動の変化など、これまでにない状況がみられました。

このような中、商業者の減少に歯止めをかけるため、創業支援を中心とした商業支援施策やこれまでの地域商業の在り方も見つめなおすという考えの下で、消費者ニーズに合った基本方針と以下に示す実行性のあるアクションプランを策定したものです。

また、このビジョンでは、将来像を「伴に奏であう、ハーモニーあふれる富士見市商業」と定め、商業の活力と魅力づくりを推進し、富士見市第6次基本構想・第1期基本計画に掲げる目標「楽しく便利に市内で買い物ができる」の実現を図るものと位置付けています。

◆取組方針1 「創業するなら富士見市で！」創業しやすい環境をつくります

市の魅力向上のほか、相談体制を充実させて創業前後のフォローを行う

◆取組方針2 楽しく便利に市内で買い物ができるようにします

多様化する消費行動への対応のため、消費者と商業者が顔の見える関係を構築する

◆取組方針3 多様な主体の参画と協働で、商業活性化をすすめます

商業者だけでなく、農業者や市民などが関わる新しい連携の形をつくる

◆取組方針4 新たな地域商業を創造します

個店や商店会、ららぽーと富士見との共生・協働を図る

◆取組方針5 非常時にも対応できる、備えある地域経済を目指します

災害への備えや地球環境問題への対応などの準備を整える

2 取組の検証について

令和3年度にスタートした第3次商業活性化ビジョンについては、令和7年度に計画の最終年度を迎えるため、本計画の実施内容や効果等を振り返り、次期計画となる（仮称）第4次商業活性化ビジョン」策定における方向性を検討する。

◆検証フロー

所管課による評価 ⇒ 各取組の課題抽出・整理 ⇒ 実態調査結果の分析 ⇒ 産業振興審議会での審議 ⇒ （仮称）第4次商業活性化ビジョンの方向性の決定

3 取組方針の進捗状況について

取組方針	実施	おおむね 実施	一部実施	未実施
取組方針1： 「創業するなら富士見市で！」創業しやすい環境をつくれます	2	1	1	1
取組方針2： 楽しく便利に市内で買い物ができるようにします	3	1	0	1
取組方針3： 多様な主体の参画と協働で、商業活性化をすすめます	2	0	0	0
取組方針4： 新たな地域商業を創造します	3	1	0	1
取組方針5： 非常時にも対応できる、備えある地域経済を目指します	0	1	1	0
合計	10	4	2	3
	53%	21%	11%	17%

◆取組方針1：「創業するなら富士見市で！」創業しやすい環境をつくれます

アドバイザーによる伴走型の経営創業相談事業の実施（R3）、創業支援セミナーの継続、商店街空き店舗出店支援事業補助（R7年度からは創業者支援補助）の実施などにより、創業しやすい環境づくりに寄与できた一方で、ビジネス・創業コンペ、チャレンジショップ等の出店の場の提供等は未実施となっている。

◆取組方針2：楽しく便利に市内で買い物ができるようにします

宅配電話帳の更新、南畑地区における移動販売事業者との連携（R5）、中小企業チャレンジ支援事業補助金の補助メニューへDX化事業を追加、SNS活用セミナーの開催（R5）など実施し、多様な消費（買い物）の機会の拡大を図り、多様化する消費行動への対応を求められている事業者への支援を図ることができた一方、商店主によるワンポイント講座は未実施となっており、見直しが必要となっている。

◆取組方針3：多様な主体の参画と協働で、商業活性化をすすめます

地域版ふじみマーケット（地域ごとの小規模イベント：バスケット朝市やふじみのMACHIfesなど）の実施することにより、商業者同士の協働による地域の賑わいの創出、地域住民との交流を図ることができた。

◆取組方針4：新たな地域商業を創造します

新たな推進体制の仕組みづくり（ふじみのMACHIfesへの支援）、賑わいと地域の個性づくりのための各種イベント事業、市の魅力の発信強化（フィルム・コミッションなど）により、活気と賑わいのあるまちづくりに寄与できた。

オンラインビジネスなどに特化したセミナーの開催は未実施であるが、事業者の業種・業態により内容が異なるので、経営創業相談の中で個別に対応している。

◆取組方針5：非常時にも対応できる、備えある地域経済を目指します

商店会街路灯のLED化への支援、防犯カメラ設置補助、防災協定の締結の推進、事業継続力強化計画策定への支援など、安全・安心なまちづくりに貢献できた。